

環境マネジメントシステムと事業活動

1 環境マネジメントシステム(EMS ※)とは

組織や事業者が運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取り組みを進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための工場や事業所内の体制や仕組みをいいます。

(※EMS=Environmental Management System)

2 環境マネジメントシステムの種類

事業者はシステムに応じて仕組みを構築し、認定の取得等を行います。

○ISO14001【国際規格】

市内取得事業所（支店等含む） 39 事業者

（公益財団法人 日本適合性認定協会での市内事業所登録）

○エコアクション 21【環境省策定】

県内認証登録 約 280 事業者（事業者名等は非公表）

（長野県地域事務局ウェブサイトから）

○その他のシステム【地域規格、独自システム等】

市では「上田市環境マネジメントシステム (EMS-U e d a)」を独自に策定し取り組んでいます。

3 環境マネジメントシステムにおける廃棄物削減・リサイクルの取組み

○環境マネジメントシステムにおいては、事業者は原則として全ての事業活動の中で環境に配慮した取組みを行うことが求められます。

○事業活動から生ずる廃棄物についても、削減・リサイクルの仕組みを構築して積極的に取り組むことが必要となります。

上田市環境マネジメントシステム (EMS-U e d a) の取組 (例)

【エコオフィスうえだ（上田市役所地球温暖化防止実行計画）として実施】

○庁内会議資料の 2in1 コピー等で紙使用量の削減に努める。

○所属（課）ごとに、不燃ごみ、資源ごみ、紙類の分別リサイクルボックスを設置し、分別回収を徹底する。

○個人情報の保護に配慮したうえで、機密文書もリサイクルを進める。

○事務機器、ファイル等の不要品は庁内 LAN での情報共有により、再活用に努める。

○職員が持ち込んだごみ（弁当空き箱等）は各自が持ち帰る。 など